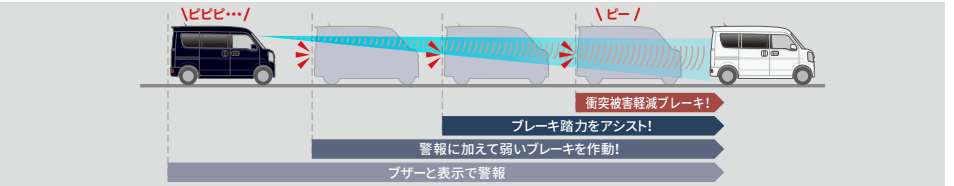
安心してドライブを楽しめる、先進の安全技術を搭載。

※装備されるグレード等の詳細はEquipment（主要装備）をご確認ください。

デュアルカメラブレーキサポート（衝突被害軽減システム） 運転支援機能 ※1※2※3※4※5〈全車標準装備〉

2つのカメラで前方の車両や歩行者を検知し、衝突のおそれがあると判断すると、ブザー音やメーター内の表示によってドライバーに警告。衝突の可能性が高まると弱いブレーキを作動。その間ブレーキペダルを踏むとブレーキ踏力をアシスト。さらに衝突の可能性が高まるとブレーキを制御し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

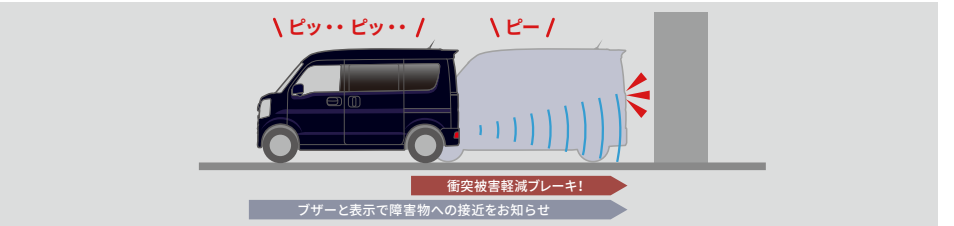
＊衝突被害軽減ブレーキ機能作動時は強いブレーキがかかりますので、走行前にすべての乗員が適切にシートベルトを着用していることを確認してください。
＊衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、クリープ現象により前進しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。



後退時ブレーキサポート 運転支援機能 ※1※2※3※4※7〈全車標準装備〉

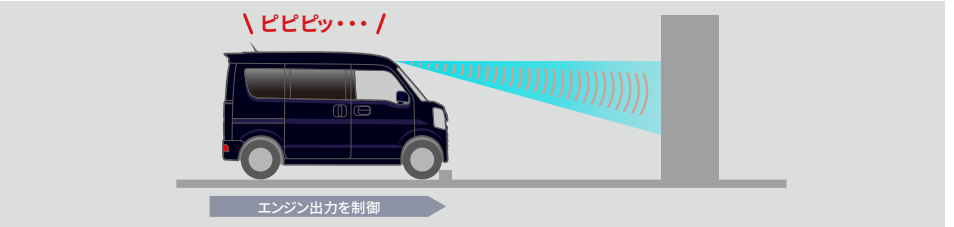
リアバンパーに内蔵した4つの超音波センサーで後方の障害物との距離を測り、4段階のブザー音とメーター表示で障害物への接近をお知らせする「リアパーキングセンサー」を搭載。さらに、後方の障害物との衝突の可能性が高まるとブレーキを制御し、衝突の回避または衝突時の被害軽減を図ります。

＊衝突被害軽減ブレーキ機能による車両停車後は、クリープ現象により後退しますので、必ずブレーキペダルを踏んでください。



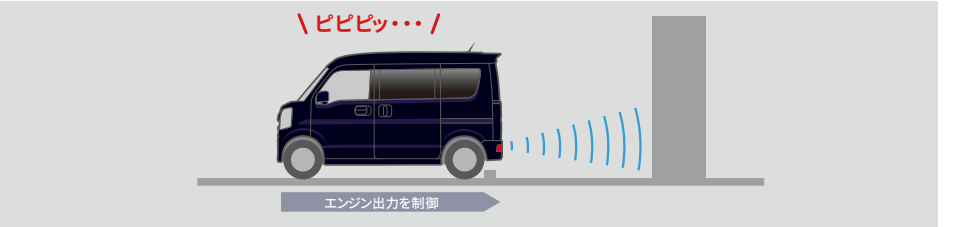
誤発進抑制機能［前進時］ 運転支援機能 ※1※2※3※4※6〈全車標準装備〉

駐車場などで、前方に壁などがあるにも関わらずシフトをD・L（Sモード含む）の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、最長約5秒間、エンジン出力を制御。急発進・急加速を抑えて、踏みまちがいなどによる衝突回避に貢献します。＊ブレーキをかけて車両を停止させる機能はありません。



誤発進抑制機能［後退時］ 運転支援機能 ※1※2※3※4※8〈全車標準装備〉

後方に障害物があるにも関わらずシフトをR（後退）の位置でアクセルペダルを強く踏み込むと、エンジン出力を制御して急な後退を防止。シフトの入れまちがいなど、うっかり誤操作による衝突回避に貢献します。



⚠ ※1状況によっては正常に作動しない場合があります。※2対象物、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突を回避または、被害を軽減できない場合があります。※3ハンドル操作やアクセル操作による回避行動を行っているときは、作動しない場合があります。※4ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。〈作動条件〉※5 自車速度約5km/h～約100km/hで走行中、前方の車両や歩行者を検知し、システムが衝突の可能性があると判断した場合。作動したときの速度が約5km/h～約50km/h（歩行者の場合は約5km/h～約30km/h）であれば、衝突を回避できる場合があります。周囲の環境や対象物の動きなどによっては、警報のみでブレーキが作動しない場合があります。また、警報と同時に衝突被害軽減ブレーキが作動する場合があります。
●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

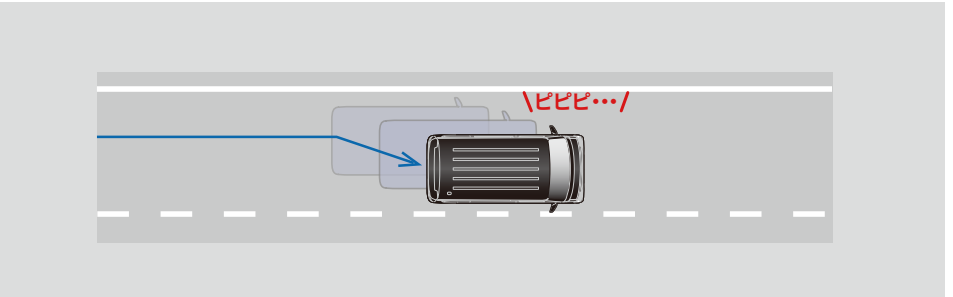
全車安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）に該当

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車（サポカーS・ワイド）」に該当しています。サポカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ（対歩行者）、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。

＊詳細についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧ください。

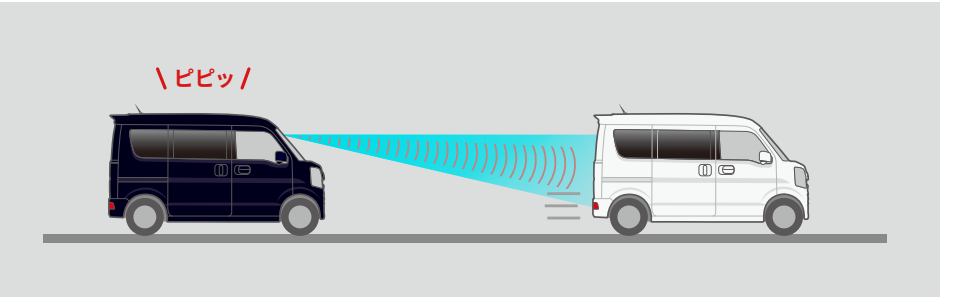
車線逸脱警報機能※1※4※9〈全車標準装備〉

走行中に左右の区画線を検知して進路を予測。前方不注意などで車線をはみ出しそうになると、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。



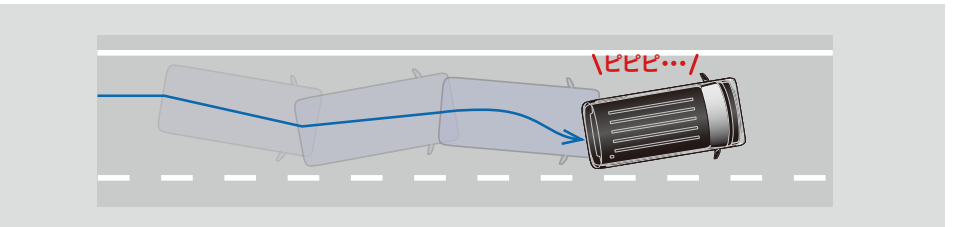
先行車発進お知らせ機能※1※4※11〈全車標準装備〉

停車中、前のクルマが発進して約4m以上離れても停車し続けた場合、ブザー音やメーター内の表示によって、ドライバーに先行車の発進をお知らせします。



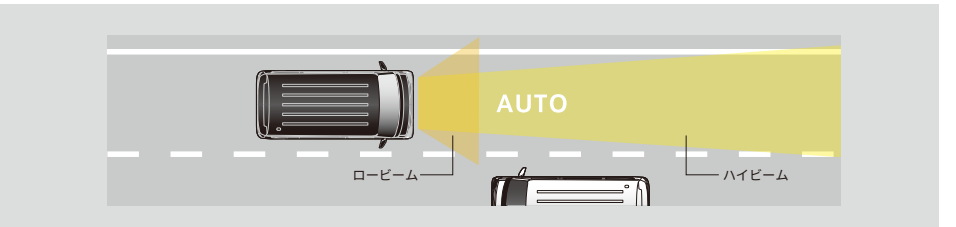
ふらつき警報機能※1※4※10〈全車標準装備〉

走行中に左右の区画線を検知して、自車の走行パターンを計測。車両が蛇行するなど、システムが「ふらつき」と判断した場合、ブザー音などの警報によってドライバーに注意を促します。



ハイビームアシスト機能※1※4※12〈全車標準装備〉

ヘッドランプをハイビームにして走行中、前方に対向車や先行車がいたり、明るい場所を走行すると自動でロービームに。対向車や先行車がいなくなったり、周囲が暗くなると自動でハイビームに戻ります。



⚠ ※6 シフトがD・L（Sモード含む）の位置で停車または徐行中（約10km/h以下）、前方約4m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。※7 約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知し、システムが「このままでは衝突が避けられない」と判断した場合。※8 停車または約10km/h以下で後退中、後方約3m以内に障害物を検知している状態で、アクセルペダルを強く踏み込んだ場合。※9 約60km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、進路を予測。システムが車線をはみ出すと判断した場合。※10 約60km/h以上で走行中、車線の左右区画線を検知し、自車の走行パターンを計測。システムが「ふらつき」と判断した場合。 ※11 シフトがD・N・L（Sモード含む）の位置でブレーキ操作をして停車中、先行車が発進して約4m以上離れた場合。※12 約30km/h以上で走行中、ライトスイッチレバーのつまみを「AUTO」の位置にし、ヘッドライトが点灯した状態でレバーを車の前方向に押し、ハイビーム位置にしているとき。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

＊画像は説明のためのイメージです。

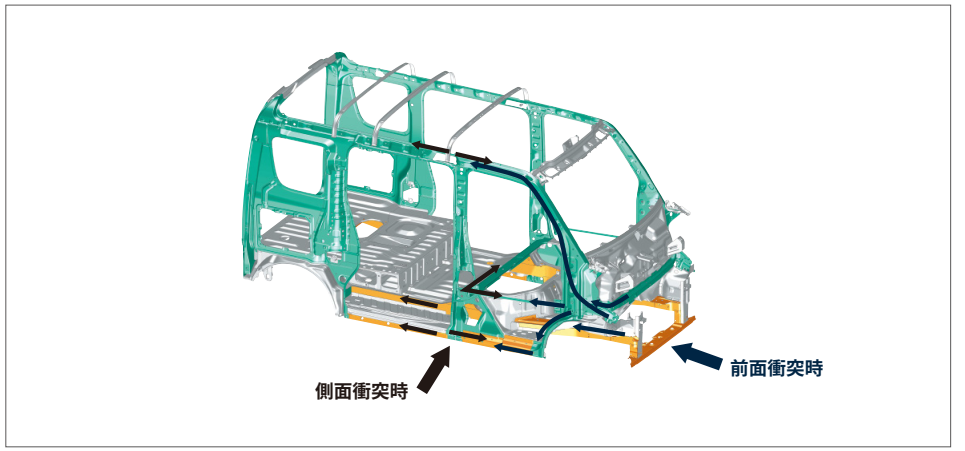
乗る人の安心を支える高水準の安全技術。

※装備されるグレード等の詳細は**Equipment（主要装備）**をご確認ください。

衝突時の衝撃を効率よく吸収するボディ構造〈全車標準装備〉

ボディの広範囲に高張力鋼板を使用して、強度を高めながら軽量化を実現。さらに、より強度の高い超高張力鋼板も採用し、安全性を追求しています。ボディ構造には、衝突時の衝撃を吸収するクラッシャブル構造や、衝撃を効果的に分散する骨格構造、さらに高強度なキャビン構造などを採用し、高い衝突安全性能を実現しています。

■軽量衝撃吸収ボディイメージ図



歩行者傷害軽減ボディ〈全車標準装備〉

ボンネットフードやフロントフェンダー、フロントバンパーなど車体前部に衝撃吸収構造を採用し、万一の接触時に、歩行者の頭部と脚部への衝撃を緩和します。

エマージェンシーストップシグナル〈全車標準装備〉

約55km/h以上で走行中に急ブレーキを検知すると、ハザードランプが自動で高速点滅。後続車に急ブレーキを知らせ、注意を促します。

ヒルホールドコントロール〈全車標準装備〉

坂道での発進時には、クルマが後ろに下がらないように、ブレーキペダルからアクセルペダルに踏みかえる瞬間、一時的にブレーキが作動（最長約2秒間）。落ち着いて発進ができます。

シートベルト フロントシート プリテンショナー＆可変ロードリミッター機構付ELR3点式×2〈全車標準装備〉

SRS※1エアバッグを運転席・助手席に標準装備〈全車標準装備〉

前方向からの衝突時にセンサーが一定以上の衝撃を感知すると、エアバッグが瞬時に膨張・収縮。シートベルトの効果とあわせて、前席乗員の頭部や胸部への衝撃を緩和します。

＊エアバッグ膨張時イメージ写真

※1 SRS：Supplemental Restraint System（補助拘束装置）運転席＆助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえでの補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。

頭部衝撃軽減構造インテリア〈全車標準装備〉

ピラーやルーフサイドの内側に衝撃軽減構造を採用。万一の接触時に、乗員の頭部へのダメージを軽減します。

チャイルドシートもしっかり固定 リアシート i-Size/ISOFIX対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ＆トップテザーアンカレッジ〈全車標準装備〉

i-Size/ISOFIX※2チャイルドシートを確実・簡単に取り付けできるので、お子様を乗せるときも安心です。

※2 国際標準化機構（ISO）が定めたチャイルドシート取付装置に関する規格。
＊i-Size/ISOFIXチャイルドシートの本車両への適合について、詳しくは車両付属の取扱説明書をお読みいただくか、各販売会社にお問い合わせください。
＊チャイルドシートを取り付ける際は、車両およびチャイルドシート付属の取扱説明書書をお読みください。